

一般国道 2 号 福山道路

道路建設事業の再評価項目調書

事業名	一般国道 2 号 福山道路		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：広島県福山市瀬戸町長和 至：広島県福山市赤坂町赤坂				延長	3. 3 km
事業概要						
一般国道 2 号は、大阪府大阪市から福岡県北九州市までを結ぶ延長約 6 7 0 k m の主要幹線道路である。 福山道路は、広島県福山市瀬戸町から赤坂町を結ぶ延長約 3. 3 k m のバイパスである。 事業目的は、福山都市圏の交通混雑の緩和及び交通安全の確保、さらに物流の効率化支援や周辺地域との連携強化である。						
H 1 3 年度事業化		H 1 2 年度都市計画決定		H 1 8 年度用地着手		—
全体事業費		約 3 5 6 億円	事業進捗率 (H28 年 3 月末見込み)	2 2 %	供用済延長	0. 0 k m
計画交通量		24, 200 ～ 33, 600 台／日				
費用対効果 分析結果	B／C (事業全体) (残事業)	(3 便益) 1. 8 2. 3	総費用 (残事業)／(事業全体) 225 / 289 億円 事業費：210/274 億円 維持管理費：15/15 億円	総便益 (残事業)／(事業全体) 524 / 524 億円 走行時間短縮便益：436/436 億円 走行費用減少便益：51/51 億円 交通事故減少便益：37/37 億円	基準年 平成 2 5 年	
感度分析の結果						
(事業全体) 交 通 量：B/C=1. 6～2. 0 (交通量±10%) (残事業) 交 通 量：B/C=2. 0～2. 6 (交通量±10%) 事 業 費：B/C=1. 7～2. 0 (事業費±10%) 事 業 費：B/C=2. 1～2. 6 (事業費±10%) 事業期間：B/C=1. 6～2. 0 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=2. 1～2. 6 (事業期間±20%)						
事業の効果等						
①円滑なモビリティの確保 ・渋滞損失時間の削減が期待される ・現道における混雑時旅行速度が 20km/h 未満である区間の旅行速度の改善が期待される ②物流効率化の支援 ・福山西 IC から福山港（重要港湾）へのアクセス向上が期待される ③国土・地域ネットワークの構築 ・地域高規格道路「倉敷福山道路」の一部として位置づけ ・日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成 ④個性ある地域の形成 ・鞆の浦（H27 観光入込客数約 236 万人／年）等へのアクセス向上が期待される ⑤安全な生活環境の確保 ・死傷事故件数の削減が期待される ⑥災害への備え ・第 1 次緊急輸送道路である一般国道 2 号の代替路線として機能する ⑦地球環境の保全 ・CO2 排出の削減が期待される ⑧生活環境の改善・保全 ・NOX 排出の削減が見込まれる ・SPM 排出の削減が見込まれる ⑨他のプロジェクトとの関係 ・同時に都市計画決定された「福山沼隈道路」「福山西環状線」などと一体的に整備する必要がある ・福山都市圏交通円滑化総合計画に位置づけ						

関係する地方公共団体等の意見

福山道路は、福山都市圏における交通渋滞の緩和に資することが期待されていることから、福山市及び備後地区建設促進協議会より早期整備要望を受けている。

広島県知事の意見：継続とする対応方針については妥当である。

地域高規格道路「倉敷福山道路」の一部を構成する一般国道2号福山道路は、本県で整備を進めている福山沼隈道路等と連携し、国道2号渋滞ワーストランキングで上位を占める福山市内の著しい交通混雑の緩和や広域連携の強化、物流の効率化を図る観点から、早期に整備すべき重要な道路であると考えます。

引き続きコストの縮減に努めながら、早期の供用開始に向け、計画的に整備を進めていただきたい。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・ 周辺開発の増進や人口増加に伴い、渋滞や交通事故が多発している。
- ・ 福山道路と接続する「福山沼隈道路」、および「福山西環状線」との一体的な整備が進められている。
- ・ 新入江大橋の整備など周辺の渋滞緩和策が進められるとともに、再開発事業や福山港国際コンテナターミナル第2バース完成など拠点性が高まっている。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成28年度末で事業全体の進捗率は22%となる見込みである。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・ 現在、用地買収を行っており早期完成を目指し事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

今後の事業実施にあたっては、コスト縮減に努めていく。

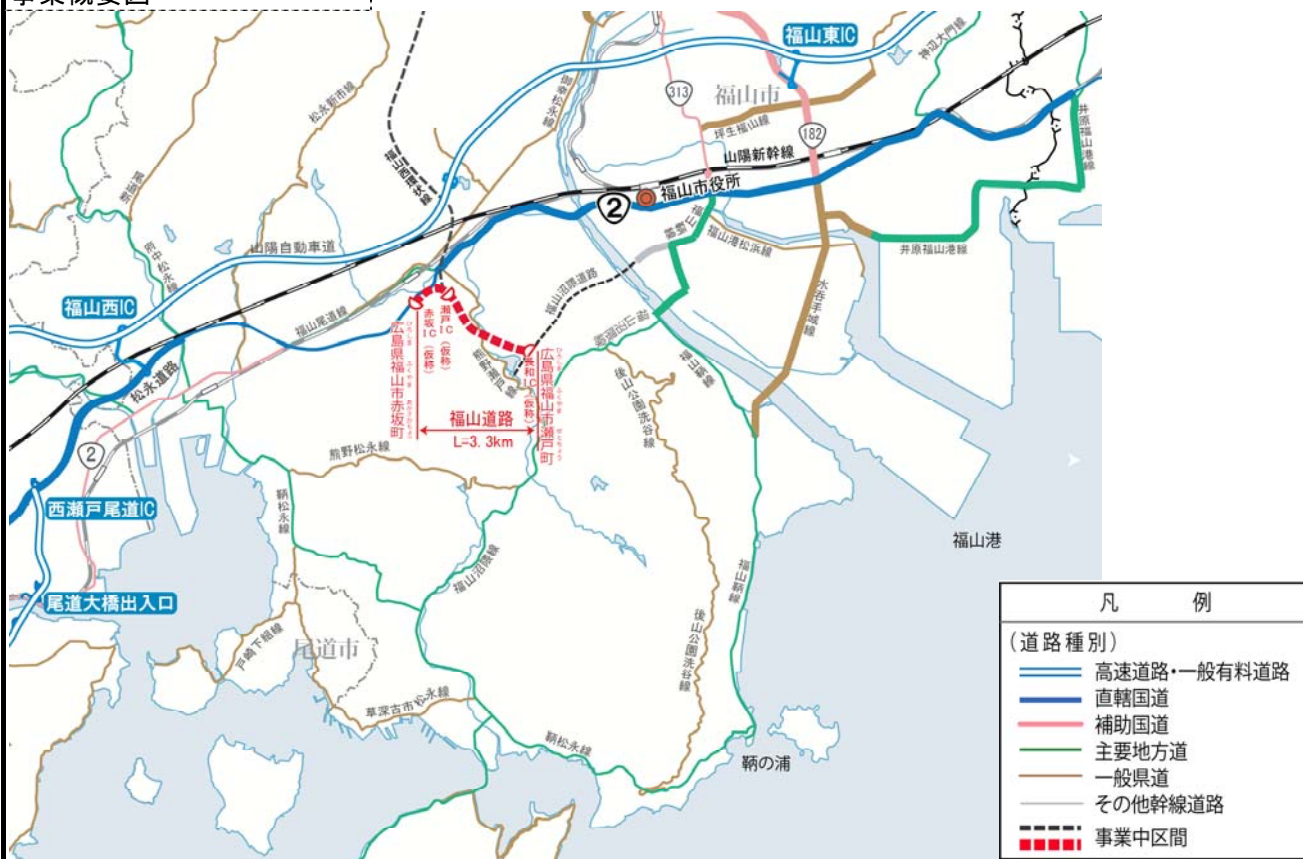
対応方針（原案）

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。

※ 費用対効果分析、環境改善効果等に係る項目は、平成25年度再評価時点。

一般国道2号 ふくやま 福山道路

事業再評価 要点審議

平成28年10月

国土交通省 中国地方整備局

◆3便益による費用便益比

(億円)

項 目	全体事業	残事業
費用 (C)	289	225
事業費	274	210
維持管理費	15	15
便益額 (B)	524	524
走行時間短縮便益	436	436
走行経費減少便益	51	51
交通事故減少便益	37	37
費用便益比	1.8	2.3

◆道路の役割

■道路の役割 (+α)

- ①環境への影響を考慮した効果 [約1.8千t/年のCO2削減] 【0.6億円】※1、※2
 ②国道2号の渋滞解消による生活道路の安全性確保
 ③物流の効率化の支援 [福山西IC～福山港国際コンテナターミナルまでの所要時間短縮：約10分] ※3
 ④主要観光地へのアクセス性向上 [福山西IC～鞆の浦までの所要時間短縮：約5分] ※3

※1 【 】は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)

※3 福山道路を利用した場合

※2 当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算定

◆まとめ

計画交通量	総事業費	総費用 (C)	3便益 (B)	その他の便益	費用対効果 (B/C) () 内は残事業B/C
24,200台/日～33,600台/日	約356億円	289億円	524億円	+α	1.8 (2.3) +α

※1 基準年：H25年
 ※2 H17ベース第2段階の改善を使用

費用対効果分析実施判定票

年 度： 平成28年度

事 業 名： 一般国道2号 福山道路

担当課：

担当課長名：

※各事業において全ての項目に該当する場合には、費用対効果分析を実施しないことができる。

項 目		判 定	チェック欄
判断根拠			
(ア) 前回評価時において実施した費用対効果分析の要因に変化が見られない場合			
事業目的			
・事業目的に変更がない		事業目的である「交通渋滞の緩和」「交通安全の確保」「物流の効率化支援」「周辺地域との連携強化」に変更がない。	■
外的要因			
・事業を巡る社会経済情勢の変化がない 判断根拠[地元情勢等の変化がない]		対象路線沿線市町村の人口 H24：471,892人 → H27：470,630人 対象路線沿線市町村の自動車保有台数 H24：340,905台 → H26：348,263台 ※対象路線沿線市町村：(福山市)	■
内的要因<費用便益分析関係> ※ただし、有識者等の意見に基づいて、感度分析の変動幅が別に設定されている場合には、その値を使用することができる。 注)なお、下記2.～4.について、各項目が感度分析幅の範囲内であっても、複数の要因の変化によって、基準値を下回ることが想定される場合には、費用対効果分析を実施する。			
1. 費用便益分析マニュアルの変更がない 判断根拠[B/Cの算定方法に変更がない]		費用便益分析マニュアル(H20.11.28)に変更がない。	■
2. 需要量等の変更がない 判断根拠[需要量等の減少が10%※以内]		今回発生集中交通量 7,235,178TE/日 前回発生集中交通量 7,235,178TE/日 変化率 0.0%	■
3. 事業費の変化 判断根拠[事業費の増加が10%※以内]		前回事業費 35,600百万円 → 今回事業費 35,600百万円 変化率 0%	■
4. 事業展開の変化 判断根拠[事業期間の延長が10%※以内]		前回事業展開 H10～H39 → 今回事業展開 H10～H39 変化率 0%	■
(イ) 費用対効果分析を実施することが効率的でないと判断できる場合			
・事業規模に比して費用対効果分析に要する費用が大きい 判断根拠[直近3カ年の事業費の平均に対する分析費用1%以上] または、前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている。		直近3カ年の事業費の平均に対する分析費用0.7%≦基準値1.0% 前回評価時の感度分析下位ケース1.6≧基準値(1.0)	■
前回評価で費用対効果分析を実施している			■
以上より、費用対効果分析を実施しないものとする。			

3. 今後の対応方針(原案)

1. 再評価の視点

①事業の必要性の視点

1) 事業を巡る社会情勢等の変化

◇社会情勢等に変化がない。

2) 事業の効果

◇費用便益比(B/C)=1.8(事業全体) 2.3(残事業) ※H25年度再評価時

◇道路の役割

①環境への影響を考慮した効果 [約1.8千t/年のCO2削減] 【0.6億円】 ※1、※2

②国道2号の渋滞解消による生活道路の安全性確保

③物流の効率化の支援 [福山西IC～福山港国際コンテナターミナルまでの所要時間短縮：約10分] ※3

④主要観光地へのアクセス性向上 [福山西IC～瀬の浦までの所要時間短縮：約5分] ※3

※1 【 】は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)

※2 当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算定

※3 福山道路を利用した場合

3) 事業の進捗状況

◇平成28年度末で事業全体の進捗率は22%となる見込みである。

②事業の進捗見込み

◇現在、用地買収を行っており早期完成を目指し事業を推進する。

③コスト縮減や代替案立案の可能性

◇今後の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、事業を推進していく。

2. 県の意見照会結果

広島県知事の意見：継続とする対応方針については妥当である。

地域高規格道路「倉敷福山道路」の一部を構成する一般国道2号福山道路は、本県で整備を進めている福山沼隈道路等と連携し、国道2号渋滞ワーストラッキングで上位を占める福山市内の著しい交通混雑の緩和や広域連携の強化、物流の効率化を図る観点から、早期に整備すべき重要な道路であると考えます。

引き続きコストの縮減に努めながら、早期の供用開始に向け、計画的に整備を進めていただきたい。

【今後の対応方針（原案）】

◇以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、今後とも**事業継続が妥当**。

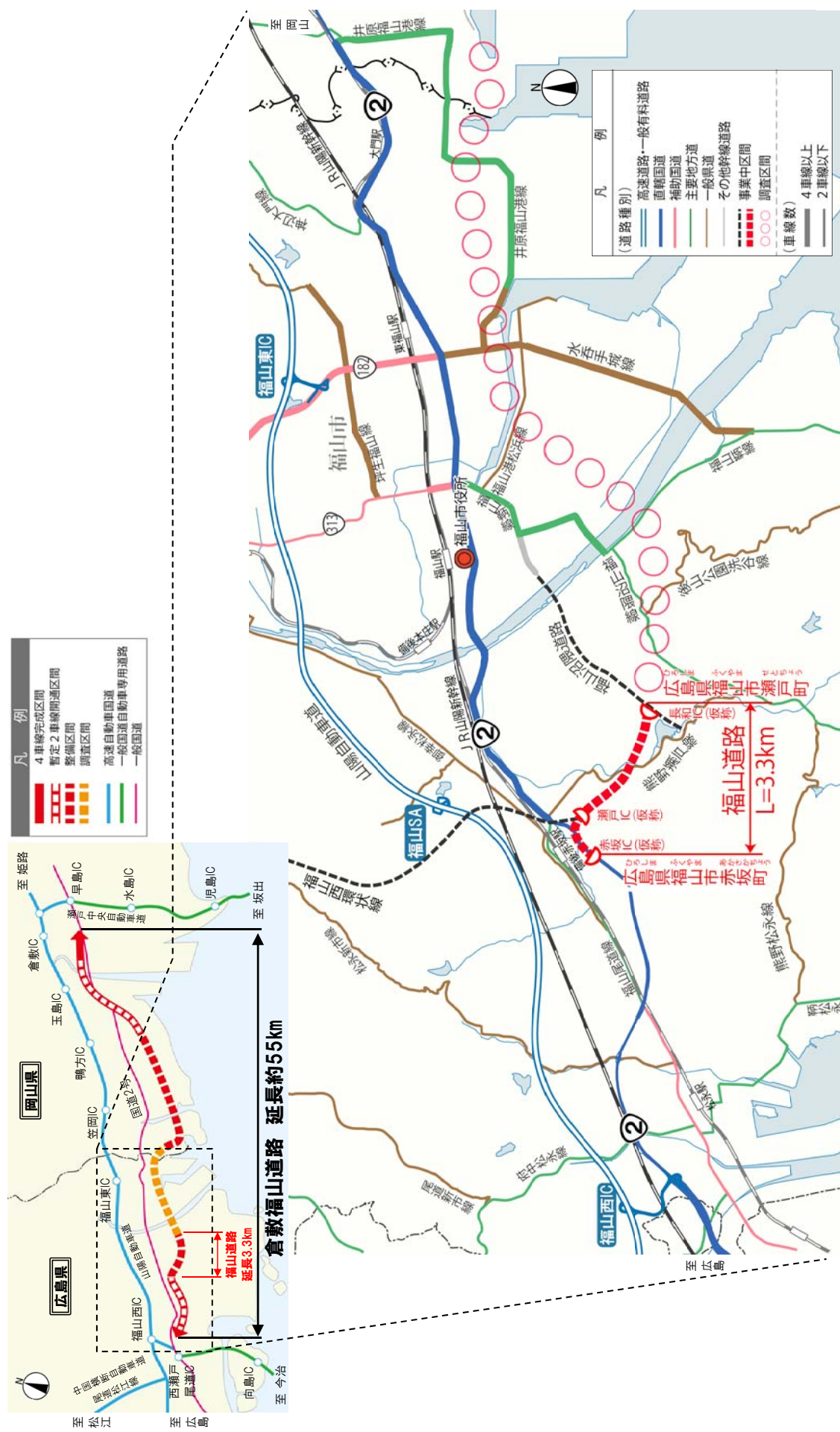
◇今後の事業の実施にあたっては、更なるコスト縮減に努力しつつ、効率的で効果的な事業を継続する。

1. 事業概要

一般国道2号 福山道路

(1)位置図

- 一般国道2号は、大阪府大阪市から福岡県北九州市までを結ぶ延長約670kmの主要幹線道路である。
- 福山道路は、広島県福山市瀬戸町から赤坂町に位置する延長3.3kmのバイパスであり、地域高規格道路「倉敷福山道路」の一部を構成するものである。

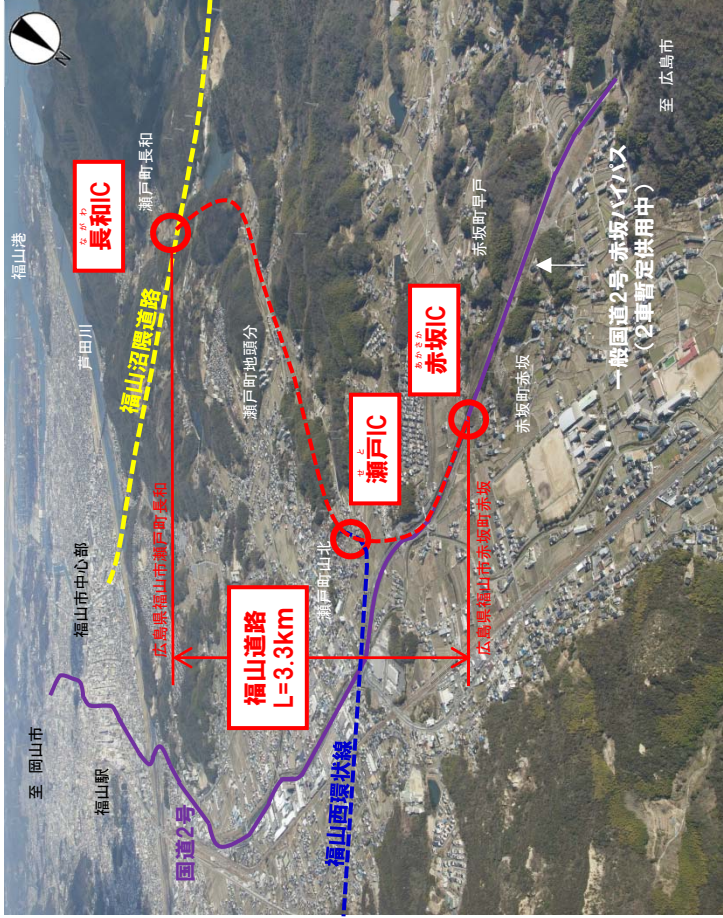


(2)事業目的と計画概要・経緯

【目的】福山都市圏の交通混雑の緩和及び交通安全の確保、さらに物流の効率化支援や周辺地域との連携強化である

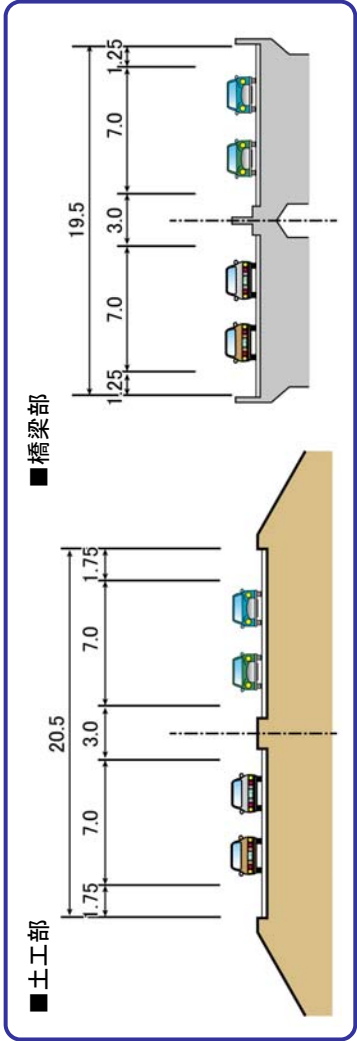
計画概要

事業名	福山道路	
起 終 点	起点：広島県福山市瀬戸町長和 ひろしま ふくやま せとじょう ながわ ひろしま ふくやま あかさか 終点：広島県福山市赤坂町赤坂	
計画延長	3.3km	
道路規格	第1種第3級	
設計速度	80km/h	
車 線 数	4車線	
都市計画決定	平成12年度	
事業着手	平成13年度	
用地着手	平成18年度	
工事着手	—	
全体事業費	約356億円	



【写真】福山道路（評価対象区間）及び関連道路の位置図 H26.3.3撮影
赤坂付近上空から福山港方面を望む IC名は全て仮称

標準断面図



1. 事業概要

一般国道2号 福山道路

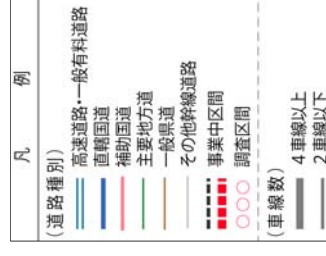
(3) 事業の進捗状況

・平成28年度末で用地進捗は79%となる見込みであり、引き続き用地買収を推進していく。

● 事業全体の進捗状況 (平成28年度末見込み)

用地	79%
工事	0%
全体	22%

※完成事業費に対する割合



道路予定地 (用地買収済)



【写真①】山北地区の状況

道路予定地 (用地買収済)



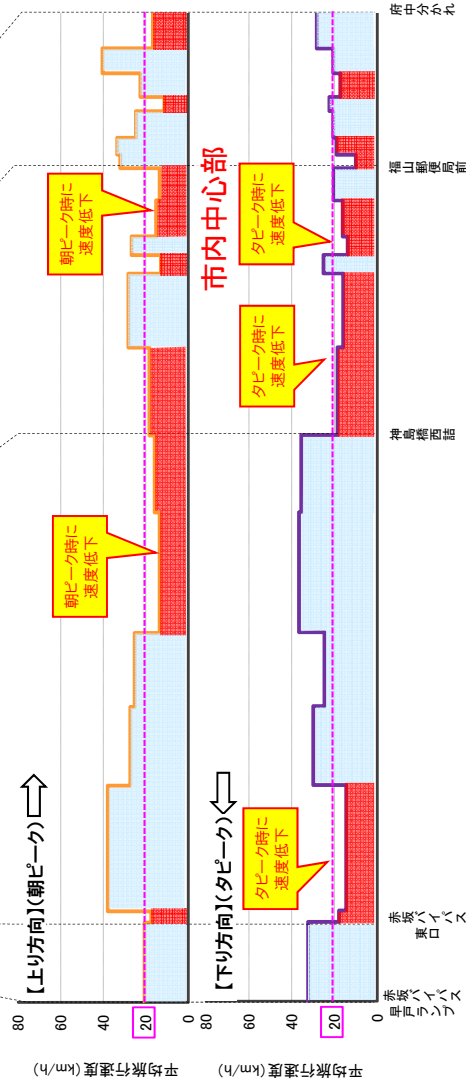
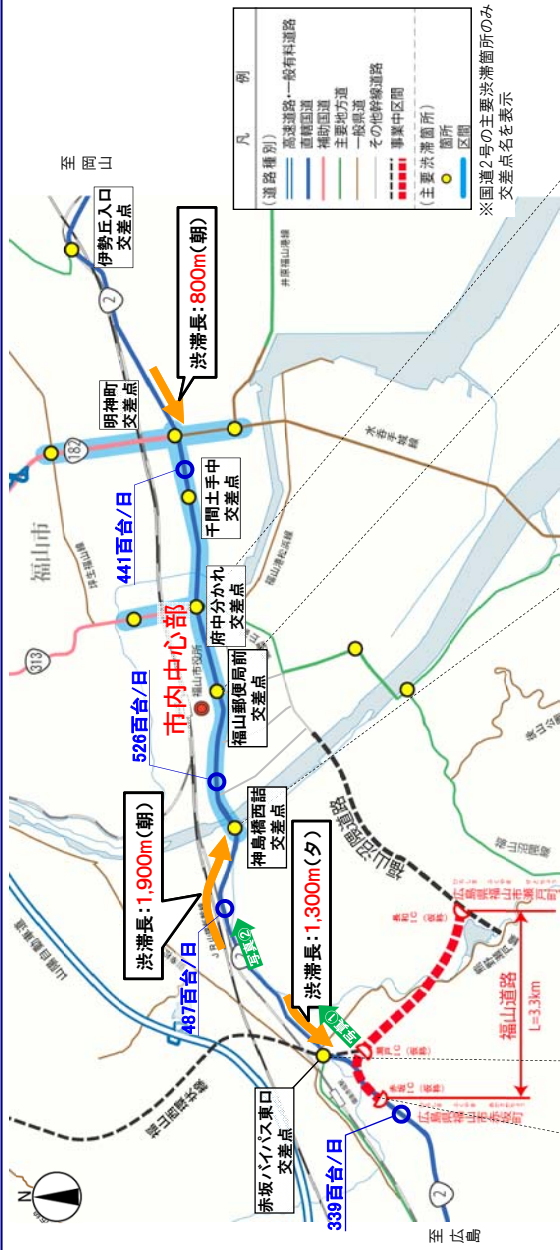
【写真②】地頭分地区の状況

2. 事業の必要性

(1) 現状の課題

① 渋滞

- ・福山市内の国道2号では、朝夕のピーク時に於いて神島橋西詰交差点、赤坂バイパス東口交差点において1kmを超える渋滞が発生している。
- ・また、市内中心部においても主要渋滞箇所が連続しており、著しく走行速度が低下している。



資料：【渋滞長さ】H27.10.20(火) 調査結果、朝7-9h、夕17-19hの4h調査のうち最大の数値
【交通量】H22道路交通センサス
【旅行速度】プローブデータ (H27.4~H28.3 上り：朝ピーク時[7:00~9:00] 下り：タピーク時[17:00~19:00])



【写真①】赤坂バイパス東口交差点付近の渋滞状況
(福山市瀬戸町山北から東方面を望む)H28.8.25



【写真②】神島橋西詰交差点付近の渋滞状況
(福山市佐波町から東方面を望む)H28.8.25

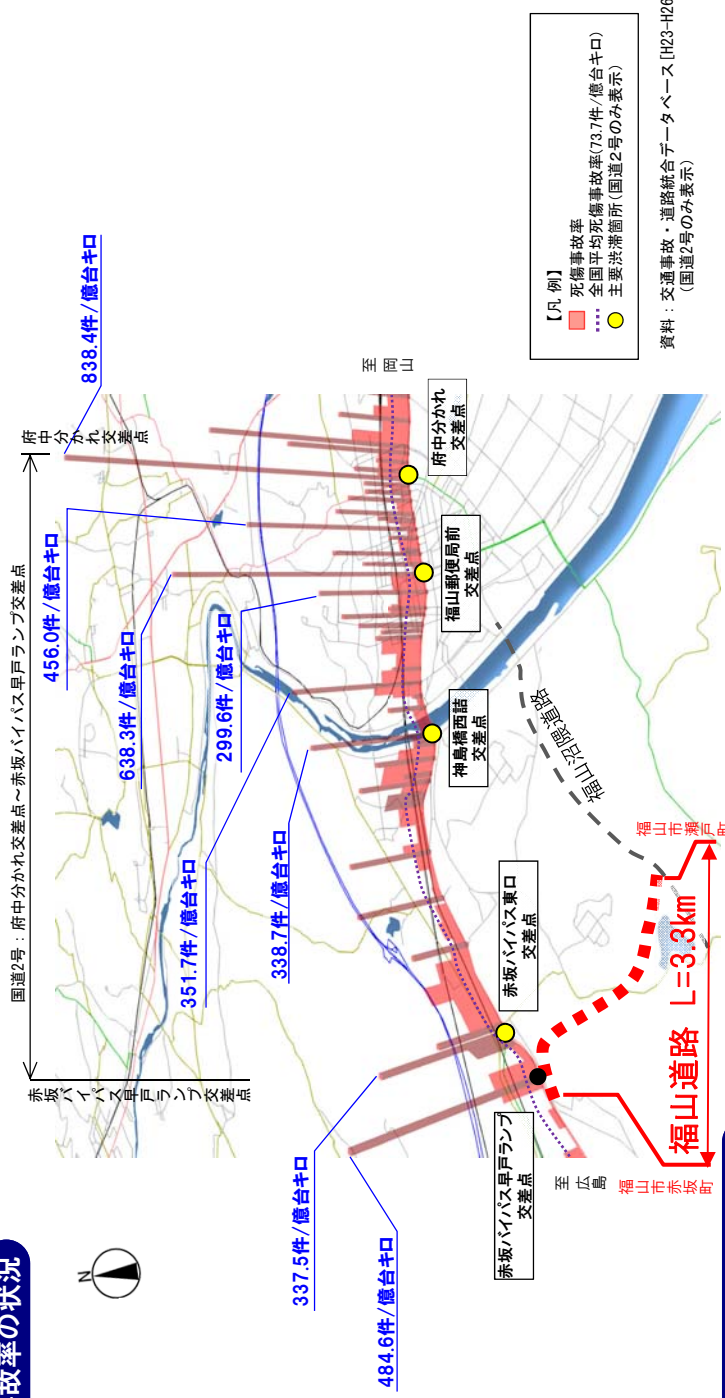
2. 事業の必要性

(1) 現状の課題

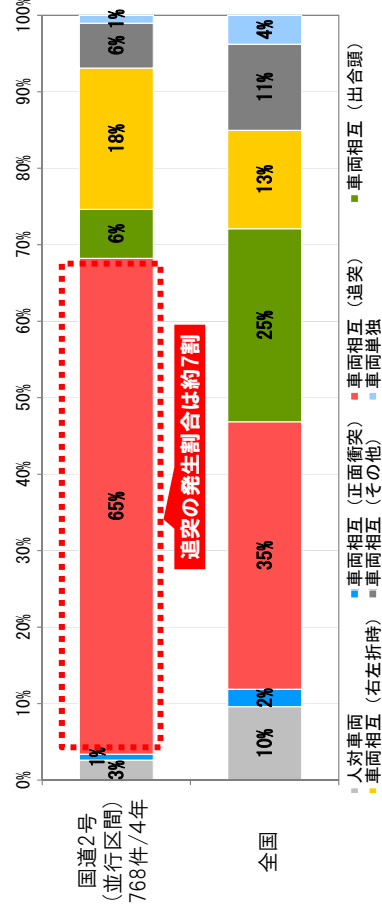
② 交通事故

・死傷事故率は全国平均よりも高い箇所があり、追突事故が約7割と高い。

並行現道区間(国道2号)の死傷事故率の状況



並行現道区間(国道2号)の類型別死傷事故の状況



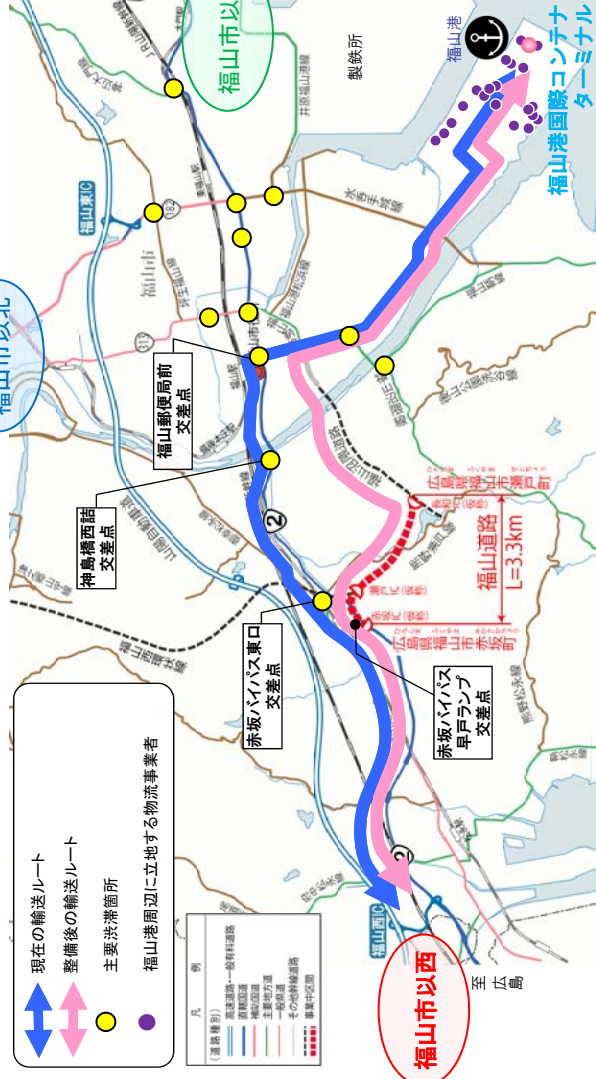
神島橋西詰付近で発生した事故

2. 事業の必要性

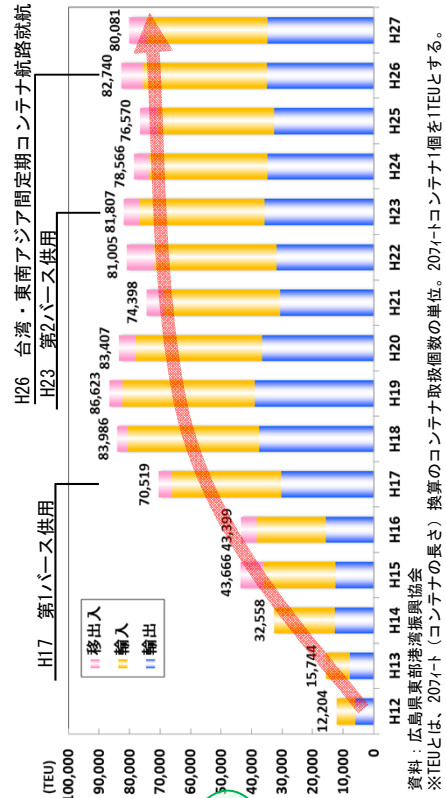
(2) 道路整備により期待される効果

- ・福山港の輸入コンテナ貨物のうち、福山市以西への輸送は約3割を占めるが、国道2号の渋滞により輸送に時間を要している。
- ・福山道路の整備による新たな道路ネットワークの構築により、所要時間短縮や定時性確保により物流活動の効率化が期待される。

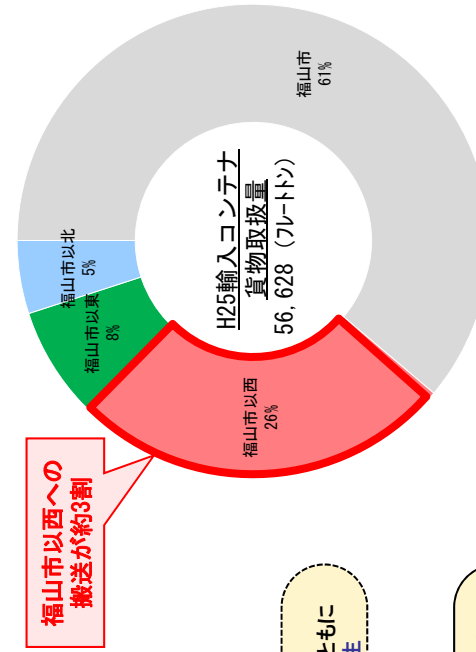
福山港からのコンテナ輸送ルート[福山市以西]



福山港のコンテナ取扱量の推移

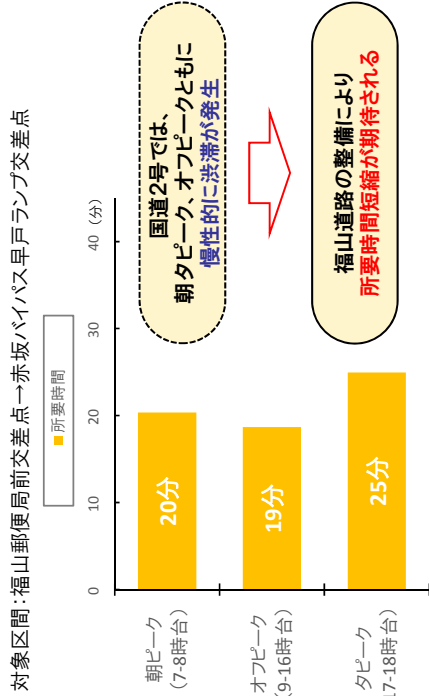


福山港における輸入コンテナ貨物の方面別輸送状況

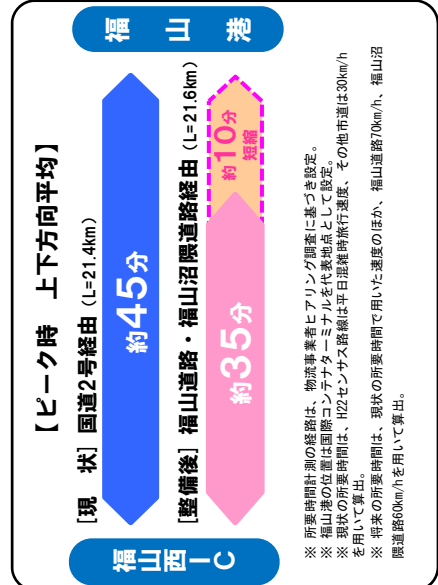


資料：H25年度 全国輸出入コンテナ貨物流動調査結果
※福山市以西：三原市、尾道市、北広島市、庄原市、竹原市、三次市、広島市、東広島市、呉市、大竹市、周南市、松江市、四国
※福山市以西：三原市、尾道市、北広島市、庄原市、竹原市、三次市、広島市、東広島市、呉市、大竹市、周南市、松江市、四国
※福山市以西：三原市、尾道市、北広島市、庄原市、竹原市、三次市、広島市、東広島市、呉市、大竹市、周南市、松江市、四国
※福山市以西：三原市、尾道市、北広島市、庄原市、竹原市、三次市、広島市、東広島市、呉市、大竹市、周南市、松江市、四国

国道2号の慢性的な渋滞



期待される道路の役割（物流効率化の支援）



一般国道2号 福山道路
〔広島県への意見照会と回答〕

国中整企画第 29 号
国中整港計第 6 号
平成 28 年 9 月 21 日

広島県知事 殿

中国地方整備局長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針
(原案)の作成に係る意見照会について（ご依頼）

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会（以下「委員会」という。）において、再評価に係る対応方針（原案）について審議しております。

このたび、平成 28 年 10 月 17 日に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針（原案）の作成にあたり、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

(別紙)

事業名	「対応方針（原案）」案※	備考
一般国道２号 福山道路	継続	
一般国道２号 広島南道路	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る対応方針（原案）を作成するためのものです。

■ご意見の送付期限：平成２８年１０月６日（木）までをお願いします。

※様式自由

■送付先・お問い合わせ先

中国地方整備局 企画部企画課

課長補佐 藤原 （内線：３１５３）

施策分析評価係長 藤野 （内線：３１８６）

TEL：０８２－２２１－９２３１（代表）

FAX：０８２－２２７－２６５１

〒730-8530 広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎２号館

土 総 第 5 0 1 号

平成 28 年 10 月 5 日

中国地方整備局長 様

広島県知事

(土木建築総務課)



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に係る意見照会について（回答）

平成 28 年 9 月 21 日付け国中整企画第 29 号及び国中整港計第 6 号で依頼のこのことについて、対応方針（原案）については、異存ありません。

なお、個別の事業についての意見については、別紙のとおりです。

- 道路事業 一般国道 2 号 福山道路
- 道路事業 一般国道 2 号 広島南道路



担 当 調整 G

電 話 082-513-3814

(担当者 山根)

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）に対する意見

【道路事業】

事業名	一般国道2号 広島南道路
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	継続とする対応方針については妥当である。
(具体的意見) 一般国道2号広島南道路は、工業・物流拠点が集中する広島湾臨海部を東西に貫く路線であり、物流機能の強化をはじめとして、広島都市圏の交通渋滞の緩和や、安全性・利便性の向上、さらには都市機能の向上に資する重要な道路である。近年は大型商業施設の立地などによる新たな交通需要が発生しており、商工センター以西の未事業化区間を含めた広域的ネットワークの早期形成が必要であると考えます。 引き続きコストの縮減に努めながら、早期の供用開始に向け、計画的に整備を進めていただきたい。	

【道路事業】

事業名	一般国道2号 福山道路
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	継続とする対応方針については妥当である。
(具体的意見) 地域高規格道路「倉敷福山道路」の一部を構成する一般国道2号福山道路は、本県で整備を進める福山沼隈道路等と連携し、国道2号渋滞ワーストランキングで上位を占める福山市内の著しい交通混雑の緩和や広域連携の強化、物流機能の効率化等を図る観点から、早期に整備すべき重要な道路であると考えます。 引き続きコストの縮減に努めながら、早期の供用開始に向け、計画的に整備を進めていただきたい。	